



上海事務所

NCB 海外レポート

『中国社会』 デジタル化最新事情 ⑨

～中国で加速する自動運転車両の実用化～

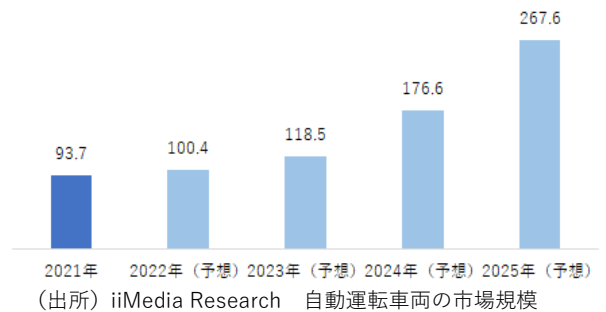
◇ はじめに

- ・ここ数年、中国では自動運転技術を備えた車両（以下、自動運転車両）の実用化が進んでいます。今回は、中国で普及する自動運転車両の現状についてお伝えします。

◇ 自動運転車両の普及について

- ・現地調査機関 iiMedia Research が発表したレポートによると、中国における自動運転車両の市場規模は年々拡大しており、2025 年には 267.6 億元（約 5,352 億円）に到達すると予想されています。
- ・また中国では、2022 年時点で約 5,800 社が同市場に参入しており、大手 IT 企業が主体となって、実用化に向けた自動運転車両の試験走行が各地で行われています。

中国の自動運転車両の市場規模の推移



◇ 上海市内で試験走行する自動運転タクシー

- ・上海市では、2021 年から IT 大手の百度（バイドゥ）が開発した自動運転タクシー「ローボークアイパオ」による一般客を乗せた公道での試験走行を開始しています。
- ・このタクシーは、予め専用のスマホアプリで目的地を設定し、呼び出すことが可能であり、乗車後は後部座席に備え付けてあるタッチパネルの「開始」ボタンを押すことで車両が発進します。
- ・走行中は、車体に搭載された感知センサーとカメラにより周囲 360 度の状況を常に把握することで、AI がブレーキやアクセル、ハンドル操作等を担う“完全な自動運転”を実現しています。



自動運転タクシーの外観

- ・車体上部を中心に多くのセンサーやカメラが取り付けられている。



走行中の車内の様子

- ・現在は補助員が同乗しているが、運転操作は全て自動で行う。



後部座席にあるタッチパネル

- ・乗客が水色の開始ボタンを押すことで発進する。

※写真はすべて上海駐在員が撮影

◇ まとめ

- ・中国では、自動運転車両が研究・開発の段階から公道での試験走行の段階に移行し、実用化に向けて日々進歩しています。日本をはじめ世界各国で自動運転車両の普及を目指しているなか、先端を行く中国の自動運転車両の動向には、今後も注視していく必要があります。

2023 年 6 月 19 日作成

西日本シティ銀行 上海駐在員事務所